NY マーケットレポート（2021 年 6 月 1 日）

2021年 6月1日（火）

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来％
日経平均	28,814.34	-45.74	4.99%
ハンセン指数	29,468.00	+316.20	8.21%
上海総合	3,624.71	+9.24	4.37%
韓国総合	3,221.87	+17.95	12.12%
豪ASX200	7,142.57	-19.06	8.43%
シンガポールST	3,187.23	+22.95	12.08%
インドSENSEX	51,934.88	-2.56	8.76%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	109.49	109.70	109.33
EUR/JPY	133.76	134.12	133.74
GBP/JPY	154.93	155.94	154.87
AUD/JPY	84.89	85.05	84.67
EUR/USD	1.2217	1.2254	1.2214
BRL/JPY	21.114	21.172	20.685
RUB/JPY	1.481	1.490	1.476

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来％
英FT100	7,080.46	+57.85	9.60%
仏CAC40	6,489.40	+42.23	16.90%
独DAX	15,567.36	+146.23	13.47%
スペインIBX35	9,189.70	+40.80	13.82%
イタリアFTSE MIB	25,321.82	+151.27	13.89%
トルコ･イスタンブール100	1,432.04	+11.55	-3.03%
ロシアRTS	1,614.21	+16.67	16.34%
南ア全株指数	68,922.86	+958.82	16.01%

コモディティー	終値	前日比	年初来％
NY GOLD	1905.00	-0.30	0.28%
NY 原油	67.72	+1.40	39.26%
CBOTコーン	688.75	+32.00	42.52%
CRB指数	208.442	+2.743	24.22%
ドル指数先物	89.831	+0.002	-0.12%
VIX指数	17.90	+1.14	-21.32%

Crypto Currency	本 日	前 日
CME Bitcoin(先物･期近)	36235	37200
Ripple(XRP)【BSTP】	1.005	0.992
Ethereum 【BSTP】	2571.00	2597.47
Bitcoin Cash	683.10	695.15

米主要株価指数	終値	前日比	年初来％
米ダウ平均	34,575.31	+45.86	12.97%
S&P500	4,202.04	-2.07	11.87%
NASDAQ	13,736.48	-12.26	6.58%
南北米主要株価指数	**終値**	**前日比**	**年初来％**
カナダ・トロント総合	19,976.01	+245.02	14.58%
メキシコ・ボルサ指数	50,722.35	-163.60	15.10%
ブラジル・ボベスパ指数	128,267.10	+2051.40	7.77%

＊一部暫定値

オセアニア国債利回り	本 日	前 日
オーストラリア10年債	1.699%	1.718%
ニュージーランド10年債	1.755%	1.813%
日本国債利回り		
2年債	-0.129%	-0.126%
10年債	0.083%	0.087%
30年債	0.688%	0.679%

欧州国債利回り	本 日	前 日
ドイツ10年債	-0.178%	-0.187%
英国 10年債	0.826%	0.804%
フランス 10年債	0.180%	0.170%
イタリア 10年債	0.900%	0.910%
スペイン 10年債	0.470%	0.460%
米国債利回り		
2年債	0.147%	0.141%
10年債	1.606%	1.581%
30年債	2.287%	2.263%

6/2 経済指標スケジュール

08:01 【英国】5月BRC店頭価格指数
08:50 【日本】5月マネタリーベース
10:30 【オーストラリア】1Q GDP
15:00 【ドイツ】4月小売売上高指数
15:45 【フランス】4月財政収支
17:30 【英国】4月マネーサプライM4
17:30 【英国】4月消費者信用残高
17:30 【英国】4月住宅証券融資高
17:30 【英国】4月住宅ローン承認件数
18:00 【欧州】4月生産者物価指数
20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
20:00 【メキシコ】4月景気先行指数
21:30 【カナダ】4月住宅建設許可
22:00 【シンガポール】5月電子産業指数
22:00 【シンガポール】5月購買部景気指数
03:00 【米国】6月米地区連銀経済報告[ベージュブック]

6/2 主要会議・講演･その他予定

・シカゴ地区連銀総裁 講演
・フィラデルフィア連銀総裁 講演
・ラガルドECB総裁 講演

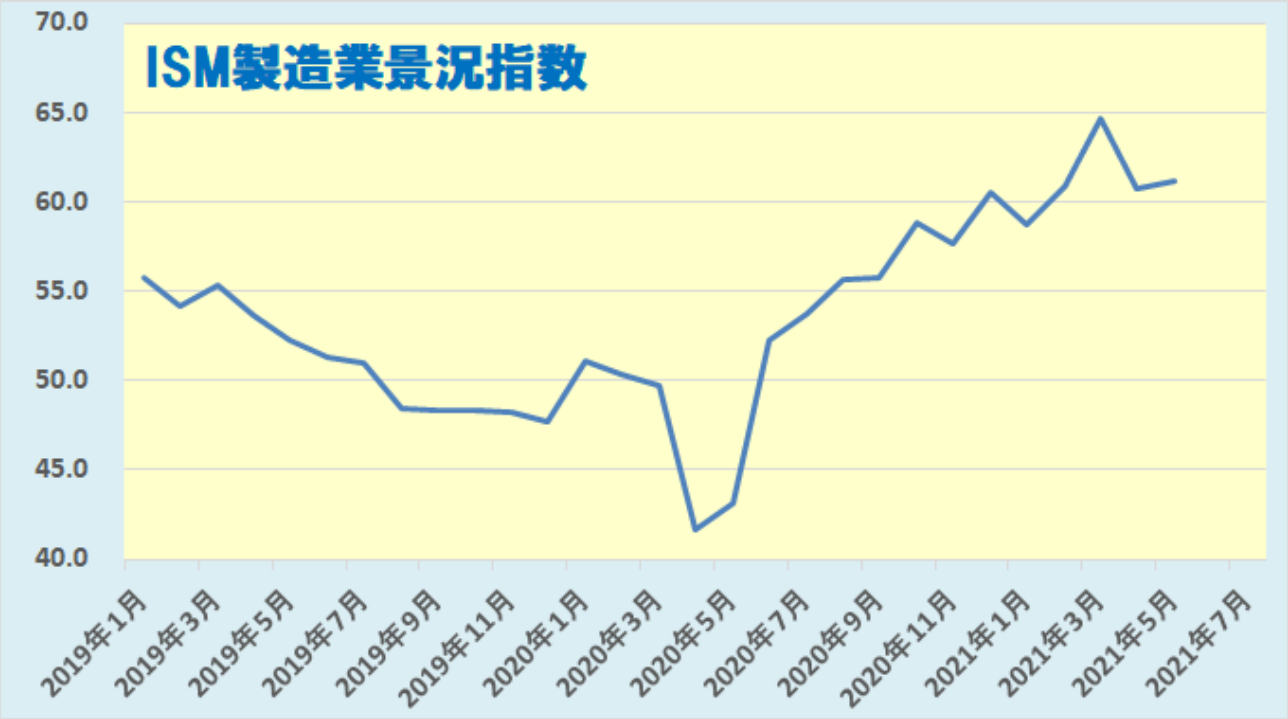
出所：SBILM

NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

5 月 ISM 製造業景況指数　61.2（予想　60.9・前回　60.7）

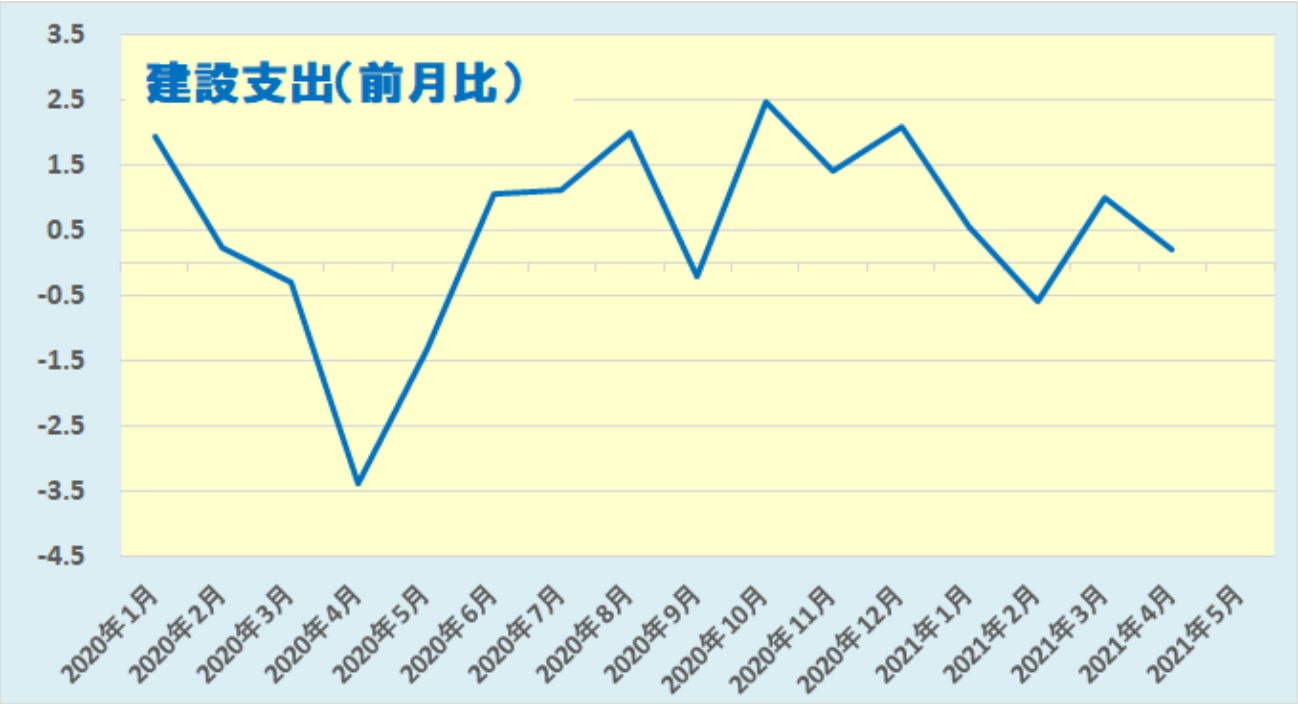
5 月の米 ISM 製造業景況指数は、前月から 0.5 ポイント上昇し、市場予想も上回った。製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 を 12 ヵ月連続で上回った。新規受注が 67.0（前月 64.3）、在庫が 50.8（46.5）と上昇したものの、仕入価格は 88.0（89.6）、生産は 58.5（62.5）、雇用は 50.9（55.1）と低下した。5 月は 18 業種中 16 業種が景況拡大、1 業種が縮小を報告した。



データを基に SBILM が作成

4 月建設支出（前月比）　0.2%（予想　0.5%・前回　0.2%⇒1.0%）

4 月の米建設支出は、前月比+0.2%の 1 兆 5242 億ドルとなり、市場予想を下回った。前年比では 9.8%となった。民間の建設支出は+0.4%の 1 兆 1807 億ドルとなり、住宅建設が+1.0%、住宅以外は-0.5%となった。一方、公共部門は-0.6%の 3435 億ドルだった。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均株価は 4 営業日続伸、ナスダック、S&P500 は反落

米株式市場では、米国でワクチンの接種が進んでいることを背景に、米景気回復の加速への期待感が高まっていることが引き続き材料視され、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。さらに、5 月の米 ISM 製造業景況指数が市場予想を上回ったものの、米長期金利が 5/21 以来の高水準まで上昇したことが嫌気され、金利動向に敏感なナスダックがマイナス圏まで下落するなど、主要株価指数は軒並み上値の重い動きとなった。ダウ平均株価は、序盤に前週末比 319 ドル高まで上昇した。その後、一時 13 ドル高まで上げ幅を縮小したものの、45.86 ドル高（+0.13%）まで値を戻して終了し、4 営業日続伸となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは 12.26 ポイント安（-0.09%）で終了した。

データを基に SBILM が作成

セクター別変動率（ダウ平均）		
	セクター	変動率
1	素材	2.91%
2	エネルギー	2.76%
3	金融	1.93%
4	資本財	1.11%
5	通信サービス	0.11%

個別の変動率（ダウ平均銘柄）		
	銘柄	変動率
1	ボーイング	3.12%
2	DOW	2.91%
3	ゴールドマン・サックスG	2.80%
4	シェブロン	2.76%
5	アメリカンエキスプレス	2.27%

データを基に SBILM が作成

ドル円・クロス円は序盤の高値水準から失速

NY 市場では、欧州市場の流れを引き継ぎ、米長期金利の指標とされる米 10 年債利回りが 5/21 以来の高水準まで上昇したことから、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなり、対円では一時 109.70 まで上昇した。上昇一服後、ドルは上値の重い動きとなったが、米製造業 PMI が市場予想を上回る結果となったことから、底固い動きとなる場面もあったが、その後に発表された 5 月の米 ISM 製造業景況指数が市場予想を上回ったものの、仕入価格、雇用が予想以上に低下したことが嫌気され、インフレ高進への懸念が後退したことがドルの圧迫要因となった。さらに、ブレイナード FRB 理事が、FRB は早まって金融引き締めを開始すべきではないとの考えを示したことや、雇用情勢にハト派的な見方を示したことも加わり、ドルは主要通貨に対して下落し、ドル/円は 109.34 まで下落した。一方、ユーロは序盤に対円で 134.12 まで上昇し、2018 年 2/9 以来の高値を更新した。しかし、上昇一服後は上値の重い動きとなり、ドルや円に対して終盤まで軟調な動きが続いた。

出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。